

# クラシック — イン — ミュージアム

## 12

宮城県美術館エントランスホール

2012年7月7日(土) 17:30開演(17:15開場)

入場無料 申込不要

曲目

1. ラヴェル 『亡き王女のためのパヴァーヌ』
2. ラフマニノフ ピアノ前奏曲嬰ハ短調「鐘」作品3-2
3. バッハ(ブゾーニ編曲) 「シャコンヌ」
4. ムソルグスキー 『展覧会の絵』 ほか

### 震災復興支援 中川賢一 ピアノ・ソロ・コンサート — 祈り —

独特の深い響きをかもし出すエントランスホールを会場に、ほぼ毎年開催してきたクラシック・イン・ミュージアム。美術館恒例行事として、すっかり定着しています。震災後1年を経た今年、鎮魂と復興への願いを込めて、中川賢一さんのピアノ・ソロ・コンサートを企画しました。このコンサートは、ロシアの音楽家・ムソルグスキーが、画家である友人の早世を悼んで作曲した『展覧会の絵』をはじめ、ラヴェル『亡き王女のためのパヴァーヌ』など、残された者の心をモチーフとした作品で構成し、「祈り」をテーマとしてお贈りするものです。本コンサートは中川さんの、宮城県美術館への支援と震災復興へ寄せる熱い思いにより、実現の運びとなりました。多くの方のご来場をお待ちしています。

| お問い合わせ | 宮城県美術館 〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1  
tel. 022-221-2111 hp. <http://www.pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/>

#### 中川賢一 NAKAGAWA KEN-ICHI

仙台市生まれ。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。卒業後渡欧し、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ最高課程、特別課程をそれぞれ、優秀、首席の成績をおさめ修了。97年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ベルギー、パリ、イギリスほかヨーロッパ各地の音楽祭に出演する。帰国後はソロ、室内楽奏者として活動、国内外の数々の音楽祭出演ほか、様々なオーケストラとの共演を行う。現代音楽アンサンブル「アンサンブルノマド」のピアニスト、指揮者として活動するほか、ダンスなどの他分野とのコラボレーションも多い。(財)地域創造音楽活性化事業登録アーティストとして日本全国でクラシック音楽振興の活動をおこなうほか、さまざまな企画プロデュースなどの活動を行う。近年は特にメシヤンの演奏に力を注いでおり、「幼子イエスに注ぐ20の眼差し」全曲(2005年よりほぼ毎年演奏、計5回)、歌曲「ハラウィ」、室内楽「世の終わりのための四重奏曲」、2台ピアノのための「アーメンの幻影」などを演奏。また2009年にはメシヤン作曲のピアノソロの大作「鳥のカタログ」全曲、ジョンケージ作曲プリペアドピアノのための大作「ソナタとインターリュード」全曲演奏は話題を呼んだ。現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学などで後進の指導も行っている。2001年せんだい芸術祭大賞、2001年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。